

**中医協「第197回総会」**  
**総会の今後のスケジュールを了承**

2011/9/28

9月28日の中医協・総会（会長：森田朗・東京大学大学院法学政治学研究科教授）では、総会における年末までの検討項目のスケジュールを確認、了承した。



2012年度改定へ向けた議論は、現在社保審・医療部会及び医療保険部会において検討されている基本方針にのっとり行われる。10年度改定で基本方針に掲げた4つの視点を踏襲し、視点ごとに項目を定め、検討していく方向。具体的な検討項目とスケジュールは下表のとおり。

**【12年度改定に向けた4つの視点・検討項目とスケジュール】**

		10月	11月	12月
充実が求められる領域を適切に評価していく視点		◇救急・周産期医療 ◇がん医療 ◇感染症対策 ◇生活習慣病対策	◇認知症・精神科医療 ◇調剤報酬——等	◇リハビリテーション
患者から見て分かりやすく納得でき、安心・安全で生活の質にも配慮した医療を実現する視点		◇明細書の無料発行	◇相談支援体制	◇医療安全対策——等
医療と介護の機能分化と連携の推進等を通じて質が高く効率的な医療を実現する視点	医療と介護の機能分化と連携		◇訪問看護 ◇在宅薬剤管理 ◇在宅医療——等	
	社会保険・税一体改革成案	◇医療提供体制と診療報酬総論 ◇外来診療	◇入院・外来診療 ◇地域に配慮した評価	◇医療と介護の連携
効率化余地があると思われる領域を適正化する視点			◇後発医薬品の使用促進 ◇平均在院日数の減少——等	◇医療従事者の負担軽減 ◇チーム医療
				◇市場実勢価格を踏まえた検査評価

これら4つの視点に加え、「災害に強い医療提供体制の構築等」についても検討するとし、被災地の状況に応じた対応、災害に強い医療提供体制を議題として10月に話し合う予定。

一方、高額療養費の自己負担限度額見直しに伴う受診時定額負担導入に関する議論では、診療側が、財源がなければ保険料か公費を増やすしかないなどとして自己負担分を増やす定額負担には否定的な見解を示した一方で、支払側からは保険料・公費とも頭打ちになったときの選択肢として考慮に入れるべきとする意見が上がった。

## ■DPC 高額薬剤に 3 成分追加

総会は、DPCにおける高額薬剤の判定基準が、従来の「平均+1SD」から「84 パーセントイル」に変更された新ルールに基づき、9 月 16 日に効能追加が承認された「ベルケイド注射用 3mg」（一般名：ボルテゾミブ）と、2010 年 4 月 1 日以降に薬価収載・効能追加されていた「パラプラチン注射液 50mg」等（同：カルボプラチン）、「サンドスタチン LAR 筋注用 10mg」等（同：オクトレオチド酢酸塩）を高額薬剤とすることを了承した。これら高額薬剤を使用した患者のうち、指定された診断群分類に該当する場合は DPC 対象外となり、高額薬剤だけでなくほかの治療費も出来高算定となる。

次回の総会は、10 月上旬に開催予定。

## DPC の高額薬剤追加が了承された医薬品（適用は官報告示日からとなります）

【DPC 対象外となる診断群分類は割愛しております。  
なお、詳細につきましては、官報告示後、弊社ホームページ内でご案内いたします。】

### ●2011年9月16日に効能追加が了承された医薬品

銘柄名	成分名	会社名	効能・効果
ベルケイド注射用3mg	ボルテゾミブ	ヤンセンファーマ	未治療の多発性骨髄腫

### ●2010年4月1日以降に効能追加となった医薬品のうち、新ルールにより出来高算定とするもの

銘柄名	成分名	会社名	効能・効果
パラプラチン注射液50mg パラプラチン注射液150mg パラプラチン注射液450mg パラプラチン150mg 注射用	カルボプラチン	ブリistol・マイヤーズ	乳がん
サンドスタチンLAR筋注用10mg サンドスタチンLAR筋注用20mg サンドスタチンLAR筋注用30mg	オクトレオチド酢酸塩	ノバルティスファーマ	消化管神経内分泌腫瘍

※中医協の資料を基に作成

## ■薬価部会では後発医薬品から議論開始

同日行われた第 69 回薬価専門部会（部会長：西村万里子・明治学院大学法学部教授）では、事務局が次回薬価制度改革に向けた論点を示し、部会の合意を得た。後発医薬品、新規薬価収載された医薬品、既に薬価収載されている医薬品それぞれに関して検討事項がまとめられ、まずは、後発医薬品に関して、収載品目数と薬価の大幅なばらつき、初期の価格設定などを中心に議論する方針。

また、「新薬創出・適応外薬解消等促進加算」については、薬価本調査の結果を受けて議論する予定で、委員からは「もともとの目的であるドラッグ・ラグ解消への有効性についてデータが必要」といった意見も出たため、事務局はどういったデータを供出できるかについても今後検討するとした。